

令和4年度・令和5年度決算予算特別委員会事業評価 **分科会評価シート⑤(決定)**

分科会名	総務教育
------	------

No.	予算科目	事業名
09	教育研究指導費	総合教育支援センター事業【57,697千円】

1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	
(1)市民ニーズ 取り扱う教育課題は、増加傾向にあるか。市民の身近な問題で、支援を要する児童生徒に対し発達段階に即した支援を行っているか。	①ニーズが高い	○
	②ニーズがあるが少ない	
	③ニーズが低い	
(2)市が行う必要性 取り扱う課題は教育の一環として市が全体的に対応すべきか。	①必要性がある	○
	④必要性がない	
(3)費用に見合った効果 費用(現予算:4660.3万円)に見合った活動(市民の相談の拠り所、支援を要する児童生徒の個々に寄り添った支援)になっているか。	①効果的である	
	②妥当である	○
	③効果的でない	
(4)目標の達成状況 取り扱う教育課題の問題解決、抑制及び支援を要する児童生徒個々に寄り添った支援につながっているか。	①適正である	○
	②適正でない	

2 分科会評価コメント

評価コメント
当該事業が取り扱う教育課題(不登校、いじめ、発達障がい等)は、社会問題化しており、守谷市においても相談件数は年々増加しており、支援を必要としている児童生徒及び親にとって、気軽に相談できる機関は必要である。
不登校、いじめ、発達障がい等の教育課題の解決対応であり、行政が主体的に行うべき重要施策と位置づけられる。
効果の可視化は困難であるが、年々増加する相談に対して、十分とは言えない職員数で対応しており、その稼働率の高さから費用に見合った活動であると評価できる。
不登校、いじめ、発達障がい等の教育課題への迅速、適正な対応と問題増加の抑制が当面の目標であり、その意味では機能していると言えるが、支援を要する児童生徒に対して、更なる支援の余地があるのも事実である。

3 分科会評価

評価	分科会の評価理由
3	6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適性である 1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※両論併記
	不登校、いじめ、発達障がい等の教育課題は全国的に増加しており、守谷市においても例外ではなく(相談件数は平成30年度799件→令和4年度1,676件と5年間で2倍以上になっている)、それら教育課題に迅速かつ適正に対処するための本事業は、市の重要施策といえる。 総合教育支援センターでは、年々増加する諸課題に対応する十分な余力があるとは言えず、組織強化をすべき時期にきていると言える。 ただし、教育課題が顕在化した際、問題解決に向けての教育現場と総合教育支援センター事業の責任の所在(主体)が曖昧であり、その点については整理が必要である。

4 今後この事業に対する提案

提案	理由(政策・施策的見地、予算に関すること)
5	5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する
4	4 拡充する 3 継続する 2 縮小する 1 予算措置しない

課題と反省
年々増加している相談に対応するための組織体制の再検討が必要な時期にきている。具体的には、役割の整理、居場所づくり、指導員等の人員の増員、複雑になってくる相談等に対応するため個々のスキルアップに向けた研修が考えられるが、現状に早急に対応するため、人員の増員は早急に行い子どもたちを守っていかなくてはならない。

令和4年度・令和5年度決算予算特別委員会事業評価 **分科会評価シート⑤(決定)**

分科会名	都市経済
------	------

No.	予算科目	事業名
05	都市計画総務費	景観形成推進事業【6,612千円】

1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	
(1)市民ニーズ 市民の街並みの良好な環境を維持していく景観意識	①ニーズが高い	○
	②ニーズがあるが少ない	
	③ニーズが低い	
(2)市が行う必要性 市民共有の財産である都市景観を条例に基づき維持していく	①必要性がある	○
	②必要性がない	
(3)費用に見合った効果 事業費全体の中の屋外広告物事務手数料の割合は適正なのか	①効果的である	
	②妥当である	
	③効果的ではない	○
(4)目標の達成状況 屋外広告物の是正は適正に行われているのか	①適正である	
	②適正でない	○

2 分科会評価コメント

評価コメント
市民の景観意識は高いと思われる。
市民共有の財産である優良な都市景観を守ることは、地域の価値を高めることになり、市がこの事業を行う必要性は高いと思われる。
条例違反の屋外広告物に対し適切な是正を行うことにより、屋外広告物事務手数料が増加すれば、事業費のうち一般財源分が抑制できる。
屋外広告物の調査により是正対象として通知した事案のうち、是正されていないものがある。

3 分科会評価

評価	分科会の評価理由
4 6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適性である	景観形成推進事業としては、おおむね適正におこなわれている。しかしながら、屋外広告物の掲示者において、屋外広告物条例の認知度が低いと思われる。そのため違反行為と認識していない場合が見受けられる。今後は、掲示者に条例の分かり易い周知と指導が求められる。
1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※両論併記	

4 今後この事業に対する提案

提案	理由(政策・施策的見地、予算に関すること)
4 5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する	・条例違反の屋外広告物に対し適切な是正を行うことにより、屋外広告物事務手数料が増加すれば、事業費のうち一般財源分が抑制できる。 ・交差点の広告物のほか、補助金の対象となっている生垣についても、交通等に支障が出ないように監視していく必要がある。
3 4 拡充する 3 継続する 2 縮小する 1 予算措置しない	・屋外広告物の許可をする際に、許可の証書を貼付するよう指導を行う。

課題と反省
是正計画が4ブロックに分かれており、毎年度1ブロックずつ現地調査を行っている現状である。予算や人員を増加すれば、毎年全ブロックを調査することも可能かと考えられるが、現状そこまでの必要性はないと考えられる。

令和4年度・令和5年度決算予算特別委員会事業評価 **分科会評価シート⑤(決定)**

分科会名	都市経済
------	------

No.	予算科目	事業名
02	公園費	公園維持管理事業【513,992千円】

1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	
(1)市民ニーズ 公園の適正な維持管理が求められているか。	①ニーズが高い	○
	②ニーズがあるが少ない	
	③ニーズが低い	
(2)市が行う必要性 市が公園の維持管理を行う必要があるか。	①必要性がある	○
	②必要性がない	
(3)費用に見合った効果 公園維持管理の費用は適正であるか。	①効果的である	
	②妥当である	○
	③効果的ではない	
(4)目標の達成状況 限られた財源で維持管理ができていますか。	①適正である	○
	②適正でない	

2 分科会評価コメント

評価コメント
公園内の植栽等を適切に維持管理することにより景観が守られていること、また、市民の憩いの場として利用できることが求められている。
利用者が常に安心安全に利用できる環境を維持し、快適なサービスを提供するために、市が維持管理を行う必要がある。
限られた財源の中で市民の声も反映し、入札等を実施することにより適正な費用で効率的な管理がなされている。
維持管理費が年々増加する中、委託事業者の契約年数を3か年にし、事業者の継続的な管理が可能になり、費用の縮小を行うことで、限られた財源で維持管理ができています。

3 分科会評価

評価	分科会の評価理由
6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適性である	公園内の植栽等を適切に維持管理することにより景観が守られ、市民の憩いの場として安心して利用できている。また、住宅開発等で整備された公園・街路樹等の維持管理を市が行う必要性は高いと考えられる。 費用に関しての公園の維持管理は、市が直営で行ってはならず市内の事業者に入札により委託している。近年では維持管理費が年々増加する中、委託事業者の契約年数を3か年にすることにより事業者が継続的に管理することで費用の縮小を行ったため、おおむね適正である。
1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※両論併記	

4 今後この事業に対する提案

提案	理由(政策・施策的見地、予算に関すること)
5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する	これまでの都市公園の維持管理は、委託事業者の契約年数を3か年にすることにより事業者が継続的に管理することで費用の縮小をはかってきた。今後適切な費用対効果に見合った維持管理の方法を活用して頂きたい。また、新たな活用手段として、市内の大規模公園や(仮称)守谷市総合運動公園などにおいては、Park-PFIやインクルーシブ遊具等を取り入れ市民満足度の高い都市公園の運営を検討して頂きたい。
予算 4 拡充する 3 継続する 2 縮小する 1 予算措置しない	

課題と反省
・P-PFIの手法は民間企業のノウハウを活用して設置又は管理ができる。市の財政負担が軽減されるが、事業に必要な資金を全額民間事業者負担にすると、初期投資が大きく回収が難しい課題がある。行政側の一部負担も検討課題である。 ・新たな費用縮小の方法を見つけることができなかった。

令和4年度・令和5年度決算予算特別委員会事業評価 **分科会評価シート⑤(決定)**

分科会名	保健福祉
------	------

No.	予算科目	事業名
		母子保健推進員事業【2,165千円】

1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	
(1) 市民ニーズ 事業対象者である妊産婦から見てニーズがあるか	① ニーズが高い	
	② ニーズがあるが少ない	
	③ ニーズが低い	○
(2) 市が行う必要性 市の他事業と比較してこの事業単体で行う必要性	① 必要性がある	○
	② 必要性がない	
(3) 費用に見合った効果 妊産婦にとってこの事業に効果があったのかどうか	① 効果的である	
	② 妥当である	
	③ 効果ではない	○
(4) 目標の達成状況 面会と情報発信の達成率及び伝達が確かにされているか	① 適正である	
	② 適正でない	○

2 分科会評価コメント

<p>評価コメント</p> <p>ニーズは低いと考える。妊産婦は母子手帳が交付されてから色々なところで様々な人と会う中で保育の正確性を重視している。インターネットの普及で助産師、保健師が情報を発信しているような時代に、専門知識を有さない方からのアドバイスに需要はないのではないかと。不安の解消や相談であれば、他で対応が可能である。</p> <p>会員数も減少し、事業自体が時代にそぐわず、事業は今後縮小する傾向にあるため、市が行う他事業と併合できる可能性が高い。</p> <p>現在はコロナ禍であった部分もあるが、電話のみの内容になっている。担当する地区の人員と配置も様々であるため、住んでいる地域とその担当者によって効果に差があるように感じてしまう。現在は効果的な活動には至っていないのではないかと。思う。</p> <p>現在は制限があり、面会・情報発信・伝達はどれも達成できていないように思える。</p>
--

3 分科会評価

評価	分科会の評価理由
<p>3</p> <p>6 きわめて良好である</p> <p>5 良好である</p> <p>4 おおむね適正である</p> <p>3 問題がある</p> <p>2 かなり問題がある</p> <p>1 不適性である</p> <p>1 全会一致</p> <p>2 大勢一致</p> <p>※少数意見も明記</p> <p>3 要検討</p> <p>※両論併記</p>	<p>事業が始まった時代と比べ、情報をキャッチする手段はいくつもあり、また個人情報等の意識が高まっている。</p> <p>また、現状はコロナ禍もあり、あまり活動がなされておらず、会員数も年々減少している。</p> <p>新生児訪問事業等の妊産婦向けの事業も他にあることから、他事業に併合し、事業内容を整理して行う必要があると考える。</p>

4 今後この事業に対する提案

提案	理由(政策・施策的見地、予算に関すること)
<p>1</p> <p>5 拡充する</p> <p>4 改善し継続する</p> <p>3 現状のまま継続する</p> <p>2 見直しの上縮小する</p> <p>1 休止・廃止する</p> <p>予算</p> <p>4 拡充する</p> <p>3 継続する</p> <p>2 縮小する</p> <p>1 予算措置しない</p>	<p>他事業へ併合する為。</p>

<p>課題と反省</p> <p>この母子保健推進員制度が出来た頃と比べ、現在は情報が自分でキャッチすることが出来るようになっている。また、個人情報に対し敏感な人もいる中で、見知らぬ方から突然電話(窓口では説明あるが時期不明)が来ると出ない方や、共働き等で出れなくて折り返しの連絡の際によく分からないといった状況が起きている。</p> <p>市として、この制度をどう活かしたいのか、どういったことに従事してほしいのかが不明瞭。</p>
--

令和4年度・令和5年度決算予算特別委員会事業評価 **分科会評価シート⑤(決定)**

分科会名	保健福祉
------	------

No.	予算科目	事業名
		新生児訪問事業【5,989千円】

1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	
(1)市民ニーズ 産婦・家族から見てニーズがあるか	①ニーズが高い	○
	②ニーズがあるが少ない	
	③ニーズが低い	
(2)市が行う必要性 市の他事業と比較してこの事業単体で行う必要性	①必要性がある	○
	②必要性がない	
(3)費用に見合った効果 1人当たり約1万円の予算の効果はあるか	①効果的である	
	②妥当である	○
	③効果ではない	
(4)目標の達成状況 実施率と受けた産婦の満足度	①適正である	○
	②適正でない	

2 分科会評価コメント

評価コメント
産後数か月は慣れない育児と子育てに関する不安な毎日を送るため、専門的な知識を有する方が訪問による健診をしてくれるのは、妊婦の体力等を考えてもニーズがあると考えられる。
子育て世代包括支援事業で事業内容を整理し、包括的な支援体制を築くほうが良いと考える。
健診内容・訪問・必要時間を考えると、この費用と効果は妥当だと考える。
実施率は高く、概ね不満の声は聞こえてこないなので適正だと考える。

3 分科会評価

評 価		分科会の評価理由
4	6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適性である	事業内容は適正に行われており、妊産婦やその家族からの需要も大きい。しかし、妊産婦向けの事業は種類が煩雑になっているため、事業を併合し整理することにより、継続性と有用性を担保するべきと考える。
	1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※両論併記	

4 今後この事業に対する提案

提 案		理由(政策・施策的見地、予算に関すること)
1	5 拡充する	他事業へ併合する為。
	4 改善し継続する	
	3 現状のまま継続する	
	2 見直しの上縮小する	
	1 休止・廃止する	
予 算		
1	4 拡充する	
	3 継続する	
	2 縮小する	
	1 予算措置しない	

課題と反省
新生児訪問事業は、ニーズと効果が共にあると思える事業だが、病院での2週間健診、1か月健診などと時期は被る部分がある。調整は個々で可能ではあるが、電話での調整であり事前に都合の良い時間帯などを窓口で聞いておく等の工夫の余地はある。また、費用対効果は妥当であるが、他事業との統合や役割を増やすことで、効果を上げることも可能ではないかと考える。

令和4年度・令和5年度決算予算特別委員会事業評価 **分科会評価シート⑤(決定)**

分科会名	保健福祉
------	------

No.	予算科目	事業名
		子育て世代包括支援事業 【7,102千円(国・県4,734)】

1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	
(1)市民ニーズ 妊産婦・家族から見てニーズがあるか	①ニーズが高い	○
	②ニーズがあるが少ない	
	③ニーズが低い	
(2)市が行う必要性 市の他事業と比較してこの事業単体で行う必要性	①必要性がある	○
	②必要性がない	
(3)費用に見合った効果 費用のなかで効果を考える場合効果的に使えているか	①効果的である	
	②妥当である	○
	③効果ではない	
(4)目標の達成状況 利用状況と満足度	①適正である	
	②適正でない	

2 分科会評価コメント

評価コメント
事業の対象者が多いため、全体的なニーズの把握は難しいが、新サービスも始まりニーズは高い。
子育て世代包括支援事業は、これからの伴走型保育の根幹となる事業であり、この事業に現存する事業を併合していく必要性が高い。
新サービスが増えてからは効果的になりつつあるので妥当である。まだ効果を上げる余地はある。
利用状況が増えることが望ましいとはいえず、満足度は向上させていきたいが、現在の状況としては判断が難しい。

3 分科会評価

評価	分科会の評価理由
4 6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適性である	この事業の主な事業内容は、①面接、相談支援と母子の状況確認、②子育て支援サービスの検討、開発だが事業選定時には②に関しては特段行われていなかった。しかし、選定後に新しい子育て支援サービスを始めており、今後の展開にまだ伸びしろがあること、他事業との併合が可能であると判断し、おおむね適正であると評価する。
1 全会一致 2 大勢一致 ※少数意見も明記 3 要検討 ※両論併記	

4 今後この事業に対する提案

提案	理由(政策・施策的見地、予算に関すること)
4 5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 見直しの上縮小する 1 休止・廃止する	前述の2事業を併合して運用するため
4 4 拡充する 3 継続する 2 縮小する 1 予算措置しない	

課題と反省
選定時には新しい取り組みがなかったため、一番の課題はそれであった。現在は様々な新しい取り組みが始まったが、反響はどうか。 伴走型保育推進のために、子どもと親をどれだけサポートできる体制が取れているかが重要である。情報が錯そうしている時代だからこそ、確かで切れ目のないサポートが必要であるが、総合的に18歳までの子育てをサポートする体制はまだ整備しきれていないのではないかと。